

■ご利用事例 「ラック内温度管理」

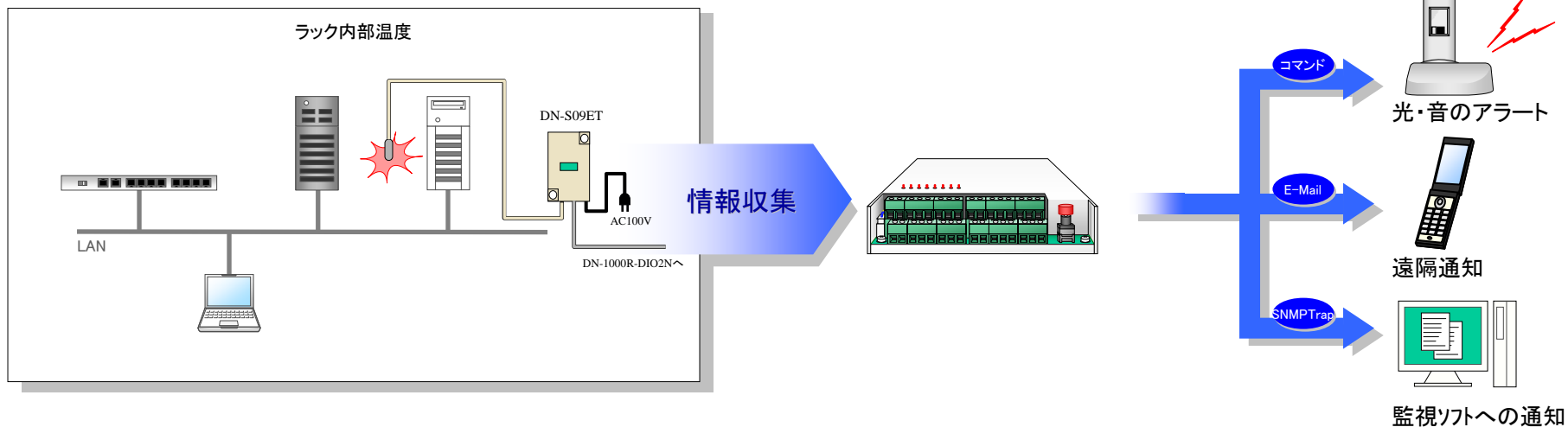
ラック背面の機器から排気される温度が、「熱い」と感じられたことはありませんか？

最近、機器の省スペース化による、ラックに搭載されるサーバやDiskの集積率も上がり、ラック内部の温度は、右肩上がり状況になりつつあります。

そこに来て、今夏の異常気温と省電力からのエアコン温度設定などは、機器にとっては辛い季節に…。そこで、『どのように管理するか』が重要になってきております。

ISAでは、センサーを使った温度の監視で、いち早くマシン室の機器と環境異常を管理者へ通知できるソリューション提案をいたします。

【システムイメージ図】



既存環境でも、簡単に設置設定することで、その日から空調停止などによる機器の熱異常上昇が発生する前にシステム管理者様へ異常を通知することができます。

※センサーを追加することで、8点までの環境監視を実現できます。

◆警子ちゃん「DN-1000R-DIO2N」のご利用



警子ちゃんは、センサーと組み合わせることで、環境異常をいち早く確認し、システム管理者様の対応をスムーズに進めるお手伝いができます。

その他の機能

- 警子ちゃんからSNMP Trapを使い、既存のノードマネージャーに通知することでSyslogなどに情報を残したり、ソフトから外部コマンドによる動作で、さらなるアクションを実行することもできます。
- IPポーリングの機能で、ラック内の機器の監視も同時にできます。